

## 第2回「外国人労働者・難民・市民権をめぐる政策に関する日米シンポジウム」

日本労働研究機構（JIL）とマサチューセッツ工科大学（MIT）共催のシンポジウム“Japan-U.S. Symposium on Japanese and U.S. Immigration, Refugee and Citizenship Policies”が1995年6月22日（木）から23日（金）にかけて新宿の日本労働機構LINCホールで開催された。初日にはまず花見忠上智大学教授の司会の下で、組織者を代表して高梨昌日本労働研究機構研究所長と Myron Weiner MIT政治学部教授による開会演説が行われた。それに続き、第1セッション「米国と日本は入移民を必要としているか」（座長：竹田いさみ, Michael Teitelbaum, 報告者：神代和俊, Barry Chiswick, 討論者：小池和男）、第2セッション「ゲストワーカーと移動者を受け入れたヨーロッパの経験から日本と米国は何を学ぶことができるか」（座長：神代和俊, Myron Weiner, 報告者：井口泰, Thomas Berger, 討論者：中村圭介）、第3セッション「政治的難民地位申請に対する米国と日本の対応」（座長：神代和俊, Myron Weiner, 報告者：竹田いさみ, Michael Teitelbaum, 討論者：本名寛）、第4セッション「非合法移動者に関する米国と日本の経験」（座長：竹田いさみ, Michael Teitelbaum, 報告者：桑原靖夫, Wayne Cornelius, 討論者：田中陽子）、第5セッション「移民、難民、難民地位申請者、非合法移動者の権利と便益に関する日本と米国の政策」（座長：神代和俊, Myron Weiner, 報告者：花見忠, Peter Schuck, 討論者：島山学）が行われた。

2日日には引き続き、第6セッション「日本と米国における移動者の編入」（座長：桑原靖夫, Wayne Cornelius, 報告者：梶田孝道, 上田元子, Reed Ueda, 論文提出者：Nathan Glazer, 討論者：駒井洋）、第7セッション「移動者と移動に対する世論」（座長：桑原靖夫, Wayne Cornelius, 報告者：Myron Weiner, Peter Schuck, 非公式報告者：竹田いさみ）、第8セッション「移動と難民に関する政策決定・政策実施過程」（座長：桑原靖夫, Peter Schuck, 報告者：井口泰, Michael Teitelbaum）、総括セッション（座長：高梨昌, 討論者：花見忠, Myron Weiner）が行われ、最後に高梨所長の閉会演説が行われた。

米国側の組織者が政治学者であることもあるため、米国側に政治学者の参加が多かったが、日本側は政治学者、経済学者、社会学者が比較的バランス良く参加していた。また、米国側には連邦政府の移入改革委員会（Commission on Immigration Reform）の9名の委員の一人である Michael Teitelbaum のほか、Barry Chiswick, Wayne Cornelius といった米国人協会会員がおり、Myron Weiner も人口関係の業績が多数あるため、人口の観点からの議論も若干行われたのに対して、日本側には人口関係者がおらず、人口の観点からの議論がなされる機会があまりなかったが、この会議の価値が損なわれるものではない。（小島 宏記）

## 人口研究機関国際協力委員会（CICRED）理事会

本年6月19～20日、フランス国立人口研究所（INED）において、昨年の人口研究機関国際協力委員会（CICRED: Comité International de Cooperation dans les Recherches Nationales en démographie）再建後第2回の理事会が開かれた。出席者は CICRED 事務局から P. Collomb 事務局長、J. Veron 事務局次長、CICRED 理事会の F. Gendreau 理事長（INED）、理事として Wu Chan Ping（中国人民大学人口研究所長）、A. Nouijai（モロッコ人口研究センター所長）、K. Feyistestan（ナイジェリア Ofabemi Awolowo 大学人口・社会統計学部）、J. Holtzer（ポーランド・ワルシャワ経済大学統計・人口研究所長）、S. Goldstein（米国ブラウン大学人口研究・研修センター所長）、阿藤誠（厚生省日本人口問題研究所長）、指定理事として J. Chamie（国連人口部部長）、B. Remiche（IUSSP 事務局長）が出席したが、メキシコ代表と UNFPA 代表は欠席した。

議題は以下の通り

1. 理事長挨拶
2. 議題の採択
3. CICRED の各種事業についての事務局長報告

#### 4. 各種事業についての討議

##### a) 現在進行中の事業

- 1) Review of Population Reviews
- 2) Thesaurus
- 3) 人口研究センターの名簿作成
- 4) 人口情報サービス
- 5) アフリカ人口研究センター会議
- 6) onchocecosis (風土病の一種) に関するセミナー

##### b) 準備中のプロジェクト

- 1) 各国の人口研究動向
- 2) 保健プログラムの評価に関するセミナー
- 3) 風土病に関するプログラム (継続)

#### 5. 予算

- 1) 1995年度予算
- 2) 補正的財源確保
- 3) 1996-99年の活動に対する UNFPA への資金要請

#### 6. 次回開催時期

CICRED はフランス政府の財政支援, INED からの人的・物的支援を受け1993年に再建に乗り出し, 1994年度から新たな活動を開始した. CICRED の目的は世界の人口研究センター間のネットワークを構築し, 情報交換ならびに研究協力を促進し, 新しい研究プロジェクトの発展を図ることである. Collomb 事務局長より, 準備したレポートに基づき, 再建第1年度の1994年における活動状況ならびに1995年度の事業が報告され, 多くの議論を経て事業内容が原則的に了承された. 以下はその要点である.

##### (1) 世界の人口研究センターの名簿作成

各国で少なくとも2人以上の人口研究者がいる機関が対象. 現在162のセンターが登録. 1995年末までに世界のほとんどすべての人口研究機関を網羅した名簿を作成し, 提供する予定 (フランス政府支援).

##### (2) 各国の人口研究の動向把握

人口研究センターの名簿作成後に本格的に実施 (フランス政府支援).

##### (3) Review of Population Reviews の提供

長期の中断の後, 本年復活予定 (出版費用は UNFPA 支援).

##### (4) Multilingual Population Thesaurus (人口用語集) の改定

1979年に作成された Thesaurus (英語, スペイン語, フランス語版) は POPIN と共同で1985年, 1993年に若干の改定が試みられたが, 現在, 専門家 (D. Courgeau) に委嘱して本格的改定作業に入る計画.

##### (5) 人口推計のためのデータ・セットおよびプログラムの加盟センターへの提供

(INED と国連人口部協力).

##### (6) 加盟センター間の協力を促進するための会議の開催

1994年12月, エチオピアのアジス・アベバにおいてアフリカ人口センター会議を開催 (フランス政府と UNFPA が支援).

##### (7) 重点研究領域 (DPO: Demographic Priority Option) に関して三会議を準備.

① 保健プログラムの人口学的インパクトの評価: 1995年末 (UNFPA 支援).

② 途上国における家族構造の変動要因ならびに変動結果としての女性の役割の変化: 1996年 (UNFPA 支援).

③ onchocecosis から解放された農村地域に関する州間人口システムの創設: 1995年 (FAO 支援).

##### (8) CICRED 人口情報サーバー (SID)

CICRED で準備した情報を順次コンピュータネットワークで利用可能にする計画 (一部はすでに開始).

(阿藤 誠記)